

OTU OKAYAMA TEACHERS' UNION ニュース

OTUネット 岡山県教組のホームページ・アドレス <https://otu.or.jp/>

発行所

岡山県教職員組合
岡山市中区西川原255番地
〒703-8567
(電話) (086) 272-1278)

編集人 松尾 涼 児

発行人 吉田 康 文

印刷所 株式会社KOHWA

日教組第74次 全国教研 全国の仲間と実践交流



1月16日、第74次全国教研の全体集会在Web配信でおこなわれ、1月24日～26日には東京都・神奈川県で分科会が開催されました。分科会では、県教組から5人のレポーターを含む28人が参加し、討議の柱について全国のレポートをもとに熱心に議論がおこなわれました。

全体集会の主催者あいさつでは、日教組の梶原中央執行委員長が、不登校や児童虐待、いじめの増加を課題として指摘し、「こども基本法」施行を機に、子どもを権利の主体として認識する重要性を強調しました。また、教職員不足の解消や長時間労働の是正が子どもの学びに不可欠であることを述べるとともに、平和教育の継承の重要性も訴えました。

記念講演では、ピースボート代表の畠山澄子さんと「KNOW NUKES TOKYO」共同代表の中村涼香さんが、「戦後80年、今、未来につたえる平和」をテーマに対談し、

戦争の悲惨さを未来へ伝えていく重要性を語られました。

分科会では、500本のレポートをもとにした研究討議がおこなわれました。最終日には、総括討論がおこなわれ、最後に「平和・人権・環境・共生を柱に、憲法・子どもの権利条約の具現化と民主教育の確立にむけ、教育実践をよりいっそう充実・発展させていきましょう」という集会アピールが採択されました。

なお、岡山県から参加した分科会の討議内容については、5月31日に赤磐市立山陽北小学校で開催する県教研1次集会で報告される予定です。

新採用者歓迎行動 新しい仲間をあたたく歓迎しよう

県教組では、2025年度も新採用者を歓迎する以下のとりくみをおこないます。組織拡大は、分会でのとりくみが大変重要です。キャンペーンを活用して新採用者をあたたく歓迎し、組合加入をすすめてみましょう。

新採用者限定「早期加入キャンペーン」 新採用者にプレゼント!「県教組カレンダー」

今年度も「新採用者早期加入キャンペーン」を実施します。6月20日まで新採用者の加入申請書を提出した分会へもれなく1万円相当のプレゼントを贈ります。



新採用者には、歓迎グッズとして青年部が作成した「県教組カレンダー」を贈ります。



2025年4月からスタート！岡山県の新制度をCheck

2025年4月1日から2024年度の確定交渉で獲得した「小学校新採用教諭の週1日空き時間確保」や「産・育休の引継期間延長」、「再任用職員の手当拡充」等が始まります。みなさんにかかわることがたくさんありますのでチェックしていきましょう。

教育関連の主な変更点

● 新採用教員の負担軽減

非常勤講師を配置して、小学校の新採用教諭に週1日分（7時間＝6コマ）の空き時間を確保！

● スクールロイヤール制度の拡充

悪質なクレーム対応などで、保護者等との面談時に弁護士の同席が可能に！

● 産・育休の引継期間延長

産・育休前後3日間に引継期間を延長！

交渉を重ねてきた結果、実現した制度だよ！これからも現場の声を届け、安心して働ける職場をつくっていきましょう！

旅費制度の改正

遠方への出張や研修での旅費が変わります。「え、知らなかった…！」となりがちなポイントをしっかり確認しましょう。

ポイント

繁忙期等でホテル代が高騰し、上限額以上の金額がかかる場合には、管理職へ事前に相談をしておきましょう。
上限額以上の支給が可能となる場合があります。

● 宿泊費 上限付きの実費支給へ

都道府県	宿泊費の基準額
埼玉・東京・京都	19,000円
福岡	18,000円
千葉	17,000円
神奈川・新潟	16,000円
香川	15,000円
熊本	14,000円
北海道・岐阜・大阪・広島	13,000円
山梨・兵庫・宮崎・鹿児島	12,000円
青森・秋田・茨城・富山・愛知・滋賀 奈良・和歌山・高知・佐賀・長崎・大分・沖縄	11,000円
宮城・山形・栃木・群馬・福井・岡山・徳島・愛媛	10,000円
岩手・石川・静岡・三重・島根	9,000円
福島・鳥取・山口	8,000円

● 日当・交通費などの主な変更点

項目	変更内容
日当	【継続】 通信連絡費の支給 【廃止】 旅行雑費（県外旅行1,100円）
鉄道賃	【新規】 特急料金・座席指定料金を距離制限なしで支給
船賃	【新規】 運賃に加え、小荷物運賃なども実費で支給
車賃	【新規】 有料道路利用料金や駐車場代なども実費で支給

赴任旅費も、実費支給に変更されているよ！

通勤手当に関して

●最高支給限度額が15万円に引上げ！



上限額が6万4千円から15万円へ大幅に引き上げられるとともに、利用要件が緩和されました。

変更項目	利用要件
 新幹線通勤の要件緩和	【継続】 片道60km以上または片道90分以上で利用可 【廃止】 新幹線等の利用による時間短縮効果が片道30分以上であること。
 有料道路利用の要件緩和	【継続】 片道50km以上または片道90分以上で利用可 【廃止】 有料道路を利用した場合、片道20分以上の時間短縮効果があること。 【廃止】 有料道路を利用した場合、有料道路を利用しないとした場合の通勤距離の40%の距離延長までであること。

各種手当に関して

 ●倉敷市に勤務する教職員へ地域手当支給！
 ●再任用職員の手当拡充

手当名	改定前	改定後
扶養手当（配偶者）	6,500円	3,000円 ※2026年度は0円
扶養手当（子）	10,000円	11,500円 ※2026年度は13,000円
倉敷市 地域手当	—	2% ※2028年度までに4%
寒冷地手当	—	職員の居住地に関する要件が廃止
再任用職員への手当	生活関連手当なし	住居・寒冷地・へき地・へき地手当に準ずる手当支給 (移動の円滑化に資する手当)

会計年度任用職員
(非常勤講師)の方へ
 ●病気休暇が「有給」へ！
 ●子の看護休暇が「子の看護等休暇」に名称変更

育児と仕事の両立を支援するため、休暇制度が見直され、病気休暇は「無給」から「有給」に変更されました。また、子の看護休暇については、対象となる子の範囲が拡大し、取得要件が緩和されました。

変更項目	変更前	変更後
子の看護休暇の名称	子の看護休暇	子の看護等休暇
対象となる子の範囲	小学校就学前の子	小学校3年生修了まで (9歳に達する日以後の最初の3月31日まで)の子
取得理由	子の病気やけがの看護や予防接種、健康診断の付き添い	【追加】 学校の臨時休業や学級閉鎖、 子の行事参加（入園式・入学式、卒園式）、 感染症の流行にともなう登園・登校の自粛要請

連合岡山

2025春闘総決起集会に500人が集結 要求実現にむけて行進！

3月1日、石山公園（岡山市）にて連合岡山「2025春季生活闘争総決起集会」が開催され、加盟する36の構成組織から500人（県教組からは34人）が集まりました。高騰する物価に賃金が追いつかず、日々の暮らしが苦しくなっている現在、賃金も物価も経済も安定的に上昇する社会へとステージ転換をはかる正念場を迎えています。

冒頭、連合岡山の森信之会長は、「賃上げを上回る物価上昇が続き、私たちの生活は楽になっていない。物価上昇を超える要求をし、粘り強く交渉をすすめてもらいたい」と述べました。集会では、「未来をつくるのは私達自身である。組合員の総意と組織の総力を結集して最後の最後までともに戦おう」という集会アピールが採択され、連合岡山に集う各組織の要求実現にむけた意思統一をしました。



その後、参加者は「格差是正」「物価を上回る賃上げの実現」等をもとめ、シュプレヒコールをあげながら行進をおこないました。今後、県教組でも全世代の賃上げや全ての教職員が無理なく安心して働き続けることのできる労働条件を実現すべくとりくみをすすめていきます。

① 春闘スタート 公務労協 石山議長 物価が上っている！ だから今年も5%以上の賃上げをめざすぞ！ おおおおおー！	② 昨年につけ！ 去年、民間が大幅な賃上げを実現したから 公務員は2%以上アップしたらいいぞ！ 民間の賃金が上がれば 公務員も上がるんだぜ！
③ 賃上げは必要！ 給料が上がらないと、 人が集まらない… 人が足りなくて、 現場がまわらない…！	④ 今年も団結して賃上げを！ 賃上げを 勝ち取るために、 民間・公務・連合が 一丸となって とりくむぞー！ 今年は賃上げの 流れを定着させる 大切な年だ！

JTU未来プロジェクト

次世代リーダー育成事業

もっと仲間を増やしていきたい！！

2月10日～11日、日教組は「JTU未来プロジェクト」を開催し、県教組青年部からも2人が参加しました。この会は、主に青年層の組合員を対象としており、次世代リーダー育成のためにワークショップなど実践的な講座がおこなわれました。参加した2人からの感想を紹介します。

各県の青年部組合員と現場の課題を共有し、困り感を分かち合うことで、有意義な時間を過ごせた。学校現場は、働く環境として課題が多く、職場交渉などで訴える必要性を改めて感じた。模擬交渉をおこなうことで、交渉の仕方や組合の意義を学ぶことができた。交渉する際には、法的根拠となる知識を自分たちが身につけておく必要がある。その知識や組合の意義を、組合未加入者にも伝え、ともに助け合える仲間を増やしていきたい。

梶平 真菜（井小支部・井原小）

交渉の仕方やオルグについて、理解が深まった。日頃の教育や組合活動に対して熱い思いをもっている仲間たちと、本気で話し合えたことが、貴重な財産になった。普段の仕事も交渉もオルグも、一人ではできず、「仲間がいる」ことが何よりの原動力だと改めて実感した。組合には、もっと多くの仲間が必要である。この経験を生かし、自分が行動することで、一人でも多くの人が組合の仲間に加わってほしい。

菅 一生（井小支部・川面小）